

海外安全対策情報

1 治安情勢

- (1) メキシコ公安省の発表では、グアナファト州の2019年度第2四半期(2019年7月～9月)の犯罪発生認知総数は35,066件と、前期比(2019年4月～6月)0.82%減となっている。また、殺人発生認知件数(行為殺人のみ)については625件と4.9%減少している。
- (2) グアナファト州治安当局者からの情報によれば、同州内の治安悪化の原因となっていた2大犯罪カルテルの一掃を目的に、本年3月下旬からメキシコ政府より軍が投入され、市警察、検察、連邦警察が連携し、一掃作戦が行われており、その成果が行為殺人事件の減少に繋がってきている旨説明を受けている。
- (3) 但し、犯罪カルテルの一掃作戦が開始されて以降、犯罪組織のバランスが崩れ、車両強盗や空き巣等の一般犯罪が増加傾向にあり、今後はこれらの取締を強化すべく連邦警察や各市警察含め対策を更に強化していくとの説明も受けている。
- (4) なお、同州内で発生している行為殺人事件の8割以上が麻薬やガソリン窃盗組織との抗争によるものと治安当局より報告を受けているため、不特定な人物を狙っての犯行ではないと認識している。しかしながら、治安当局やこれら犯罪組織同士との銃撃戦や銃を利用した殺人が頻繁に市内で発生する中、銃の流れ弾による一般人の死傷事件も発生していることから、引き続き在留邦人に対しての注意喚起が必要である。
- (5) 更に、殺人事件と同様に、麻薬売買に関する事件が2017年6,567件に対して、2018年は8,739件発生しており(前年比33.07%増)、グアナファト州における殺人事件の背景には、麻薬に関する事件が紐付いていることが理解できる。

2 管轄地域内における一般犯罪の傾向(2019年7月～9月) ※前期 同年4月～6月

(1) グアナファト州 総数 35,066件(前期比 0.82%減)

※殺人事件は減少傾向にあるものの、強盗事件(主に車両強盗)が増加傾向にあるため、注意が必要。

ア 行為殺人	625件(前期比	4.96%減)
イ 傷害	3,611件(前期比	9.18%減)
ウ 窃盗	7,133件(前期比	0.29%減)
エ 強盗	3,985件(前期比	20.90%増)
オ 誘拐	3件(前期	2件)

(2) アグアスカリエンテス州 総数 10,158件(前期比 0.21%減)

※麻薬関連が前期と対比し34.7%増加。麻薬関連が増加すれば故意殺人や強盗事件が増加する傾向にあるため、注意が必要。

ア 行為殺人	19件(前期比	20.83%減)
イ 傷害	1,065件(前期比	5.50%減)
ウ 窃盗	2,767件(前期比	10.10%減)
エ 強盗	352件(前期比	30.37%増)
オ 誘拐	4件(前期	3件)

(3) ハリスコ州 総数 39,319件 (前期比 0.96%減)

空き巣や路上強盗・窃盗の一般犯罪の件数が増加傾向にあるため注意が必要。

ア 行為殺人	518件 (前期比 1.17%増)
イ 傷害	2,363件 (前期比 0.17%増)
ウ 窃盗	12,327件 (前期比 2.57%増)
エ 強盗	6,620件 (前期比 2.32%減)
オ 誘拐	5件 (前期 4件)

(4) ケレタロ州 総数 15,231件 (前期比 4.26%減)

※窃盗被害は減少傾向にあるものの、空き巣や路上強盗・窃盗の一般犯罪の件数が、人口と比較して他州に比べ比較的高いため注意が必要。

ア 行為殺人	57件 (前期比 42.50%増)
イ 傷害	1,467件 (前期比 10.11%減)
ウ 窃盗	5,775件 (前期比 3.28%減)
エ 強盗	795件 (前期比 8.46%増)
オ 誘拐	0件 (前期 2件)

(5) サンルイスポトシ州 総数 13,794件 (前期比 1.56%増)

※麻薬関連が昨年同時期と対比し68.3%増加。それに影響して全体的に事件発生件数が増加傾向にあり注意が必要。

ア 行為殺人	119件 (前期比 13.33%増)
イ 傷害	1,244件 (前期比 4.38%減)
ウ 窃盗	3,410件 (前期比 5.83%増)
エ 強盗	939件 (前期比 5.86%増)
オ 誘拐	3件 (前期 8件)

(6) サカテカス州 総数 6,130件 (前期比 0.28%増)

※空き巣や強盗・窃盗（路上、車両）含む一般犯罪の件数が増加傾向にあるため注意が必要。

ア 行為殺人	126件 (前期比 2.33%減)
イ 傷害	526件 (前期比 9.31%減)
ウ 窃盗	1,414件 (前期比 1.36%増)
エ 強盗	470件 (前期比 21.45%増)
オ 誘拐	11件 (前期 12件)

3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) グアナファト州内では、麻薬やガソリン窃盗に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や行為殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生している。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやディスコ等の出入りについて極力避けると共に、夜間を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、

この様な事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意が必要である。

- (2) 次に、銀行で現金を引き出した後に、つけられ強奪される事件も昨年同様に頻繁に発生している。銀行にて現金を引き出す際は、顧客の利用率の高い銀行や時間帯、警察官や警備員が常駐している場所を選ぶ等、出来る限り狙われるリスクを下げるよう心掛ける必要がある。
- (3) また、凶器を利用した強盗も増加している。この様な事件に巻き込まれないためにも、発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げる必要がある。
- (4) 最近では、銃器を利用した車両強盗事案が増加傾向にあり、メキシコ人被害者が抵抗したために足を拳銃で撃たれ負傷するケースや、致命箇所を打たれ死亡するケースも発生している。万が一にも犯人に遭遇した際は、抵抗せず犯人等の指示に従うことが重要である。
- (5) そして、前期に引き続き、コンビニエンスストアやマーケット等の駐車場における車上荒らしが、引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に良く注意するとともに、車両を離れる際は貴重品の放置に注意が必要である。
- (6) 最後に、日本の犯罪組織が関連する日本企業を狙った詐欺被害も数件発生しており、社長の口調や仕草を真似して、日本人の財務担当者を説得し、偽造した会社様式書類を利用する等して巧みに騙して多額の現金を振り込ませるといった詐欺が少なからず発生しているため、会社としてのガバナンスの見直し、関連する日本人社員への情報共有等を行い対策に努めることが必要である。

4 日本人被害の犯罪発生状況（2019年7月～9月）

バヒオ地区における邦人被害数は、前期（2019年4月～6月）11件であったのに対して、今期（2019年7月～9月）は19件と増加傾向にある。

被害日時	被害場所	被害者	犯罪種別	被害状況
2019/7/2 19:00	ハリスコ州 ラゴスデモレノ市 サンルイスポトシ方面 高速道路沿いの コンビニエンスストア OXXO	出張者	窃盗 (車上狙い) 駐車場	駐車場に車を止め店内で買い物をして戻ってきたところ、助手席側後部座席の窓ガラスが割られ座席下に置いていたパスポート、現金、パソコン等の入ったカバンと、同行していた在留邦人のパソコン、衣類の入ったキャリーケースが窃取された。
2019/7/7 20:00	アグアスカリエンテス州 アグアスカリエンテス市 自宅	出張者	窃盗 (空き巣) 自宅	帰宅した際、玄関の鍵が壊されており2階の自室にあったパスポート、パソコン、カメラ等が窃取されているのに気がついた。

2019/7/14 17:00	グアナファト州 レオン市	日本企業	その他	事務所に税務局（SAT）の担当者と名乗る人物より電話があり、「未納の税金があるため、確認したい事項がある」旨説明があった。その後、事務所内の現在の所持金や警備体制に関して質問があったため、怪しいと思い回答せずに電話を切った。（メキシコ国内では、このような電話は多く、回答してしまった直後、事務所に強盗が押し入る等の被害も散見されている。）
2019/7/17 17:30	グアナファト州 サランカ市 薬局（Farmacia de Guadalajara）の駐車場	在留邦人	脅迫・恐喝	薬局で買い物を終え店から出たところ、振り向きざまに突然右頬を殴られた。左手にナイフのようなものを持った男性がおり、持っていた財布と携帯電話を差し出したところ、犯人はそれらを受け取り逃走した。
2019/7/20 17:00	グアナファト州 レオン市 コストコセントロマックス店の駐車場	在留邦人	窃盗 （車上狙い） 駐車場	店内で買い物を終え、駐車していた車両に戻ってきたところ、車両のガラスを割られ車備え付けのカーステレオを窃取された。
2019/7/23 14:00	ハリスコ州 サポパン市 San Cristbal 自宅（一軒家）	在留邦人	窃盗 （空き巣） 自宅	風呂場窓の鉄格子を何者かに切断され自宅内に侵入された。中に置いてあったスーツケースの鍵が壊され、中に入れてあった旅券、現金1,700米ドル、パソコン等の貴重品が盗まれた。

2019/7/中旬 12:00	ケレタロ州	日本企業	詐欺	事務所に本社社長と名乗る人物（本人の声や口調を似せていた）より電話があり（その他隣国2か国の関連事務所含める）、「社長自らが進める極秘案件があり、日本の送金手配時間を過ぎているため、そちらから指定口座に入金してほしい」旨の連絡があった（流暢な日本語、英語）。担当者は「ガバナンスに反する行為のため、規定に沿った手順を踏むように」説明したところ電話が切れ未遂に終わった。他国の事務所も振り込むことはなかったが、同社のレターヘッドや社長サインを使って、振り込むよう要求をしてきたとの由。
2019/8/1 21:00～21:30	グアナファト州 セラヤ市内 Plaza Parque Celaya 駐車場	在留邦人	窃盗 （車上狙い） 駐車場	被害者が、駐車場に駐車して買い物に行っている間に、トランクの鍵をドリルのような物でこじ開けられ、衣類や貴重品が入ったスーツケースと購入した食品を盗まれてた。なお、車外から見える場所には、何も物は置いていなかった。
2019/8/2 20:00	ハリスコ州 グアダラハラ市 Avila Camacho 通り	在留邦人	窃盗（ひったくり）	被害者が車道沿いを歩いていたところ、バイクに乗った男性に、手に持っていた携帯電話を奪われた。

2019／8 月	ケレタロ州	日本企業	詐欺	日本の本社長と名乗る男（社長の口調に似せて話していた。）からケレタロ事務所に電話があり、「自ら（社長）が単独で進める極秘案件があり、手付金を早急に振り込みたい。日本の送金手配時間を過ぎているため、そちらから指定口座に入金して欲しい。」旨連絡があった。電話を受けた担当者は当初その話を信じ、弁護士のものだと言われたメールアドレスにメールしたところ、会社のロゴ、振込先情報や社長名のサインが記載された書類が添付されて返信されてきた。社長を名乗る男は執拗に「非常に重要な案件で、プライオリティを持って行動して欲しい。」と繰り返すことから担当者は不審に思い、領事メールで“企業に対する詐欺未遂事件の発生”の情報配信があったことを思い出し、送金依頼を断った。すると男は脅すような口調で「会社の命運を握る案件だ、これを逃したら全て君の責任になるぞ。」等まくし立ててきたが、担当者は電話を切った。その後も何度か電話がかかってきたが、電話番号をブロックし、被害に遭うことはなかった。
2019/8/8 19:50 頃	グアナファト州 サラマンカ市 リンコンカンペストレ 付近ガソリンスタンド	在留邦人	強盗 (けん銃使用) 車両運転中	被害者が給油中に、拳銃を所持した2名の男性が現れ、その他複数の客がいるにも関わらず、被害者に銃口を向けながら車を降りるように命じた。被害者は指示に従い車を降りたところ、ズボンのポケットを探られ所持品をチェックされたが、何も持っていなかったため犯人らはそのまま被害者の車を奪って逃走。胸ポケットにあった携帯電話は無事であったため、携帯で警察等へ通報。車は約1時間後に発見されたが、車内の現金や車の鍵等が盗まれていた。

2019/8/10 7:30	ハリスコ州 トラホムルコデスニガ市 44号線（グアダラハラ・チャパラ間）沿いの セブンイレブン駐車場	在留邦人、 出張者	窃盗 （車上狙い） 駐車場	被害者が店内で買い物をしていた際、後部座席の窓ガラスを割られ、旅券、パソコン、タブレット、携帯電話、腕時計等の入ったカバンを盗まれた。
2019/8/13 16:30 頃	グアナファト州 イラブアト市 casimiro Liceaga 通り 交差点左折レーン	在留邦人	器物損壊	被害者が運転中、左折レーンで信号を待っている際、右側から現れた男性から突然投石を受け、助手席側窓が破損した。前方に他の車両があったことから、その場から逃げられず、その間も同男性は車両の助手席側の扉に体当たりをしてきた。その後、前方の車が動いたためその場から逃げることができた。助手席側の窓にヒビが入ったが、身体にケガ等は無かった。
2019/8/14 13:00 頃	グアナファト州 セラヤ市 国道 51 号線と国道 67 号線の交差点	在留邦人	強盗 （けん銃使用） 車両運転中	メキシコ人の運転手とスタッフ及び邦人家族含め 7 名が乗った車両（CX9）が、サンミゲル・アジェンデ市からセラヤ市に向かい、セラヤ市に差し掛かる交差点で信号待ちをしていた際（先頭）、前方左側から来た車に進路を阻まれた。同車両から自動小銃を所持した男性 2 名が出てきて、被害者車両に銃口を向けながら車から降りよう命令してきたので、被害者は指示に従った。犯人は運転手から車の鍵を奪い、運転席と助手席に乗って逃走した。直後に警察が、被害車両の GPS を使って追跡を試みたが、途中で GPS 信号が途切れてしまった。被害者家族にはケガ等なかった。
2019/8/27 14:50	グアナファト州 イラブアト市	日本企業	脅迫・恐喝	代表番号に電話があり、メキシコ人職員が対応したところ、犯人は自分の名前とカルテル名（Alberto Granados, Cartel de Jalisco Nueva Generacion）を名乗り、「イラブアト地区のカルテル勢力が変わったのは知っているか？」と聞いてきた。そこで電話を切ったところ、その後電話は架かってこなかった。社内で情

				報共有して被害は無かった。みかじめ料を要求してきたと思われる。
2019/9/21 15:00	グアナファト州 レオン市 某レストラン駐車場	在留邦人	窃盗 (車上狙い) 駐車場	店の前の駐車場に車を止め食事をしていたところ、トランクに入れていたパスポート、パソコン等の入ったカバンを窃取された。車に外傷はなく、リモコンキーの電波を利用し解錠されたものと思料される。
2019/9/25 21:00	グアナファト州 イラブアト市 プラサシベレス前の薬局 (Farmacia del Ahorro)	在留邦人	窃盗 (車上狙い) 駐車場	車を止め店内で買い物をし戻ってきたところ、運転手席側後部座席の窓ガラスを割られ、トランクに置いていたパスポート、パソコン、携帯電話等の入ったカバンを窃取された。
2019/9/28 21:00 頃	サカテカス州 グアダルーペ市 居住区内社宅 (一軒家)	在留邦人	窃盗 (空き巣) 自宅	事件翌日の 12 時半頃帰宅した際、施錠したはずのトイレの窓が開いていたため、何者かに侵入されたことに気づき警察に通報。家の中は荒らされており、現金、パソコン、スマートフォン、ブランド衣服、DVD プレイヤー等が窃取された。近隣住民の設置する監視カメラにより、犯人は 2 名～3 名で、居住区の 10 m 程の壁を伝い被害宅の中庭に侵入、中庭の勝手口が施錠されておらず、そこから住居内へ侵入したことが判明。侵入された時間帯は隣家の監視カメラより確認。最近になりサカテカス市周辺では、空き巣被害が増加傾向にある。
2019/9/30	アグアスカリエンテス州 アグアスカリエンテス市	日本企業	脅迫・恐喝	日系企業の代表電話にハリスコ州の犯罪カルテルの者 (Victor Hugo de la Vega) と名乗る人物より 3 回電話があり、「みかじめ料 1,000 米ドルを支払わなければ従業員含め家族を誘拐又は会社車両を襲撃する」といった内容の脅迫を受けた。電話番号をネットにある迷惑電話で検索したところ、掲載されていたため (「みかじめ料の要求」や「爆弾をしかけた」といった脅迫)、従業員には、今後同番号の着信は無視するように周

				知した。翌日からは掛かってきていない。
--	--	--	--	---------------------

以上